

【担当教員名】 渡邊 榮吉	対象学年	3	対象学科	健栄
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

臨床栄養学Ⅰで学習した疾患、病態をさらに発展させ、諸疾患に関する十分な知識を修得するとともに、栄養学的見地からの疾患、病態・病期における診断に適切な栄養療法の選択を学ぶ。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 傷病者の病態や栄養状態に基づいた適正な栄養管理を理解する。
2. 栄養アセスメントに基づいた栄養ケアプランの作成、実施、評価、に関する総合的なマネジメントの考え方を理解する。
3. 臨床栄養の実践に必要な知識と技術の応用力を身に付ける。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	代謝疾患 高尿酸血症と痛風の栄養療法と教育	1~3	講義
2	骨粗鬆症の栄養の評価・治療・教育	1~3	講義
3	先天性代謝異常Ⅰ（アミノ酸代謝異常、有機酸代謝異常）の治療と予後	1~3	講義
4	先天性代謝異常Ⅱ（糖代謝異常、脂肪代謝異常）の治療と予後	1~3	講義
5	循環器疾患 虚血性心疾患の病態と栄養療法の評価・教育	1~3	講義
6	うっ血性心不全の病態と栄養療法の評価・教育	1~3	講義
7	呼吸器疾患 呼吸器疾患の病態と栄養評価・治療・教育	1~3	講義
8	腎疾患 糸球体腎炎とネフローゼ症候群の病態と栄養評価・治療・教育Ⅰ	1~3	講義
9	糸球体腎炎とネフローゼ症候群の病態と栄養評価・治療・教育Ⅱ	1~3	講義
10	急性腎不全の病態と栄養評価・治療・教育	1~3	講義
11	慢性腎不全の病態と栄養評価・治療・教育Ⅰ	1~3	講義
12	慢性腎不全の病態と栄養評価・治療・教育Ⅱ	1~3	講義、スライド
13	臨床栄養学臨地実習Ⅱに必要な知識の学習Ⅰ	1~3	講義
14	臨床栄養学臨地実習Ⅱに必要な知識の学習Ⅱ	1~3	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	特に指定しない			
参考書	病態栄養ガイドブック	日本病態栄養学会編	メディカルレビュー社	2005年 ¥3500
その他の資料				

【評価方法】 出席状況、レポート、定期試験から評価	【履修上の留意点】
------------------------------	-----------